

(障害者地区別)

**平成 25 年度障害者・要介護者等口腔保健実態調査
集計報告書**

目次

I. アンケート調査概要

1. 調査目的	2
2. 調査時期	2
3. 調査対象	2
4. 調査方法及び回収数	2

II. 郵送アンケート調査結果

1. 貴施設の入所者の方の状況について	3
1-1. 入所者定員	3
1-2. 入所者の構成	4
2. 貴施設での歯科保健管理および歯科医療の状況について	5
2-1. 職員（常勤または非常勤）、嘱託として歯科医師・歯科衛生士の配置	5
2-1補① 配置されている職種および雇用形態について	6
2-2. 歯科医師による歯科健診を受ける機会について	7
2-2補. 歯科健診の頻度について	8
2-3. 歯科医師または歯科衛生士から歯科保健に関する指導を受ける機会について	9
2-3補. その頻度について	10
2-4. 歯科健診、歯科医師等による歯磨き・歯科保健指導以外の取り組みについて	11
2-4補 実施している取り組みの内容	11
2-5. むし歯などの歯科治療が必要時の対応について	13
2-6. 歯や口のことに関する問題について	14
2-7. 歯科保健活動が入所者ニーズを満たしているか	15
2-7補. 不足していると考えられる点	16
3. 食べる機能（摂食機能）の維持・向上に関する状況について（障害者施設のみ）	17
3-1 食事介助への問題を感じる点	17
3-2 食べる機能（摂食機能）の維持・向上を図るための指導・訓練について	17
3-2補① 実施されている指導・訓練の内容について	18
3-2補② 実施していない理由	18
3. 貴施設の併設施設の有無あるいは種別について（要介護者施設のみ）	19
3補①. 施設の種別	19
3補②. 歯科の有無	19

Ⅲ. 訪問アンケート調査結果

1. 職種について	20
2. 従事年数について	21
3. 歯科保健に関する講習会等の受講状況	22
4. 施設での歯科保健サービス提供にあたり工夫していること	23
5. 施設での歯科保健サービス提供にあたり障害となっていること	24
6. 今後入所者の歯科保健向上のため必要であると考えていること	25
7. 日頃、歯の事で関心があること	26
8. ご自身の定期歯科受診の有無及び頻度	27
9. 歯科医師と管理栄養士との連携の必要度	28
10. 歯科医師間での治療内容の差	29
11. 口腔機能維持管理加算の算定について	30

Ⅳ. まとめ

1. 障害者施設	31
2. 要介護者施設	33

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査では障害者入所施設及び要介護者入所施設における歯科保健サービスの提供状況を明らかにし、今後の歯科保健対策の基礎資料を得ることを目的として調査した。

2. 調査時期

平成 26 年 1 月 17 日～平成 26 年 3 月 12 日

3. 調査対象

①愛知県内にある入所障害者（児含む）施設（以下、「障害者施設」）73 施設及び、介護老人福祉施設、介護老人保健施設）、介護療養型医療施設（以下「要介護者施設」）533 施設

②①の施設のうち、アンケートを返却頂いた施設

4. 調査方法及び回収数

①郵送にてアンケートを送付した。

②アンケートを回収した施設において、許可を頂いた先に訪問して実施。

回収数 ①の方法にて606件を郵送して455件回収（回収率75.1%）

②の方法にて396件を回収

Ⅱ. 郵送アンケート調査結果

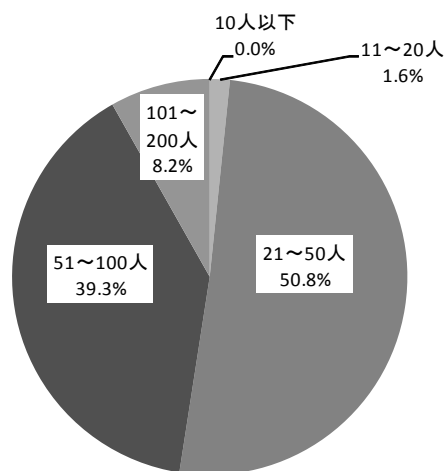
1 貴施設の入所者の方の状況についてお伺い致します。

1-1. 貴施設の入所者定員は何人ですか。

「障害者施設」は「21～50人」の割合が最も大きく50.8%、「要介護者施設」は「51～100人」の割合が64.5%と最も大きくなっています。

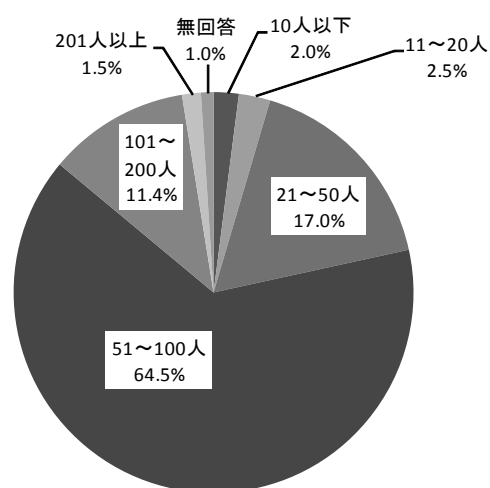
障害者施設

項目	全体		尾張		三河	
	件数	%	件数	%	件数	%
10人以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11～20人	1	1.6	0	0.0	1	4.0
21～50人	31	50.8	18	50.0	13	52.0
51～100人	24	39.3	16	44.4	8	32.0
101～200人	5	8.2	2	5.6	3	12.0
201人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	61	100.0	36	100.0	25	100.0



要介護者施設

項目	件数	%
10人以下	8	2.0
11～20人	10	2.5
21～50人	67	17.0
51～100人	254	64.5
101～200人	45	11.4
201人以上	6	1.5
無回答	4	1.0
合計	394	100.0



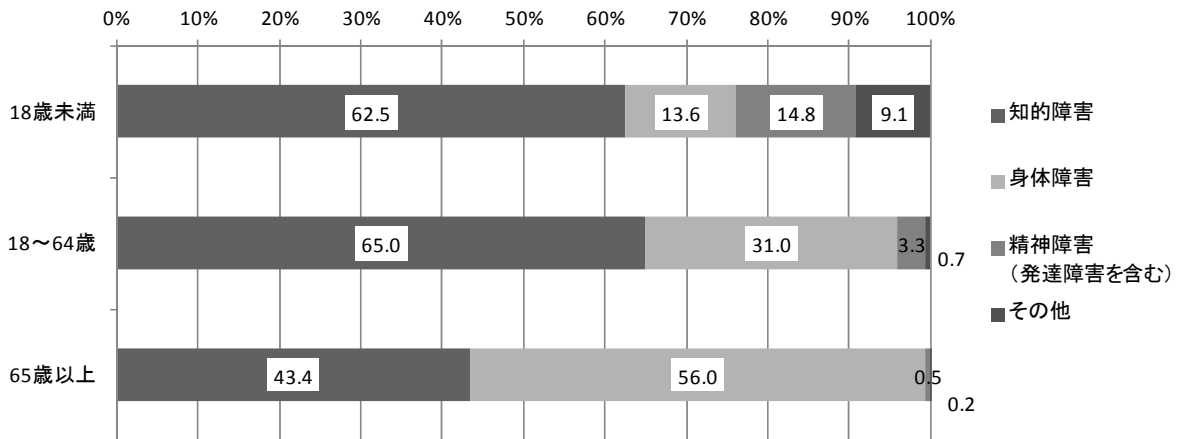
1-2 現時点での入所者の構成についてお答え下さい。

障害者施設では、「18歳未満」と「18～64歳」は「知的障害」の割合が最も大きくそれぞれ62.5%、65.0%、「65歳以上」は「身体障害」の割合が56.0%と最も大きくなっています。

要介護者施設では、「75歳未満」は「要介護5」の割合が28.7%と最も大きく、「75～84歳」と「85歳以上」は「要介護4」の割合が最も大きくそれぞれ30.5%、31.3%となっています。

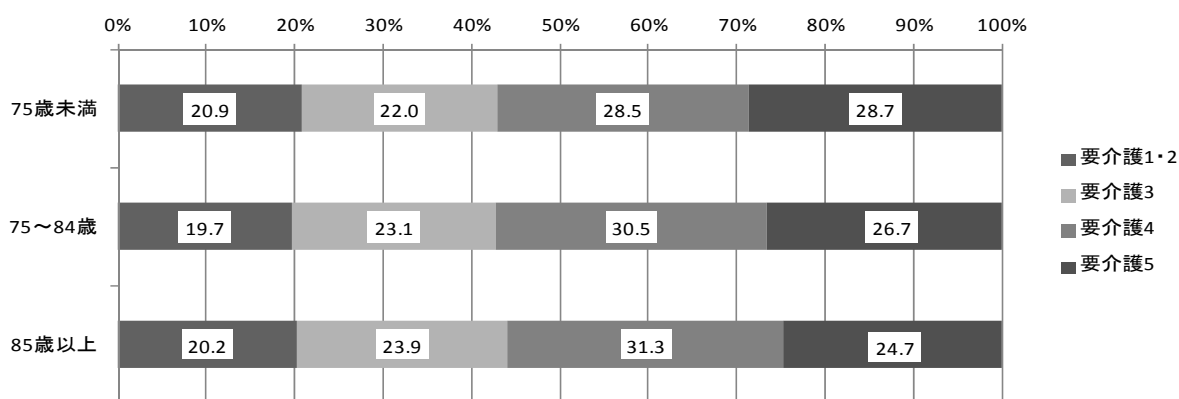
障害者施設

	合計			知的障害			身体障害			精神障害 (発達障害を含む)			その他			
	尾張	三河	計	尾張	三河	計	尾張	三河	計	尾張	三河	計	尾張	三河	計	
全体	2,212	1,635	3,847	1,362	993	2,355	761	581	1,342	57	61	118	32	0	32	
	100.0	100.0	100.0	61.6	60.7	61.2	34.4	35.5	34.9	2.6	3.7	3.1	1.4	0.0	0.8	
1-2入所者の構成 (障害者施設)	18歳未満	69	19	88	48	7	55	0	12	12	13	0	13	8	0	8
		100.0	100.0	100.0	69.6	36.8	62.5	0.0	63.2	13.6	18.8	0.0	14.8	11.6	0.0	9.1
	18～64歳	1,749	1,351	3,100	1,151	863	2,014	533	428	961	42	60	102	23	0	23
		100.0	100.0	100.0	65.8	63.9	65.0	30.5	31.7	31.0	2.4	4.4	3.3	1.3	0.0	0.7
	65歳以上	394	265	659	163	123	286	228	141	369	2	1	3	1	0	1
		100.0	100.0	100.0	41.4	46.4	43.4	57.9	53.2	56.0	0.5	0.4	0.5	0.3	0.0	0.2



要介護者施設

		合計	要介護1・2	要介護3	要介護4	要介護5
全体		30,095	6,046	7,053	9,242	7,754
		100.0	20.1	23.4	30.7	25.8
1-2入所者の構成 (要介護者施設)	75歳未満	3,307	690	726	943	948
		100.0	20.9	22.0	28.5	28.7
	75～84歳	9,650	1,898	2,233	2,942	2,577
		100.0	19.7	23.1	30.5	26.7
	85歳以上	17,138	3,458	4,094	5,357	4,229
		100.0	20.2	23.9	31.3	24.7



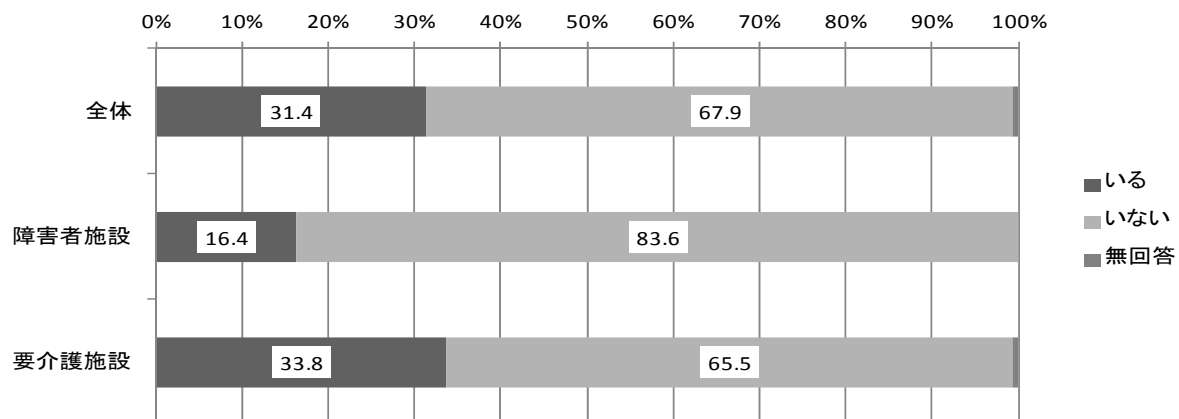
2. 貴施設での歯科保健管理および歯科医療の状況についてお伺い致します。

2-1 貴施設には職員(常勤または非常勤)、嘱託として歯科医師・歯科衛生士が配置されていますか？

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに「いない」の割合がそれぞれ83.6%、65.5%と最も大きくなっています。

また、「要介護者施設」の方が「障害者施設」よりも「配置されている」割合が17.4ポイント高くなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
いる	143	31.4	5	13.9	5	20.0	10	16.4	133	33.8
いない	309	67.9	31	86.1	20	80.0	51	83.6	258	65.5
無回答	3	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.8
合計	455	100.0	36	100.0	25	100.0	61	100.0	394	100.0



☆質問2-1で「a. いる」と回答された方にお伺い致します。

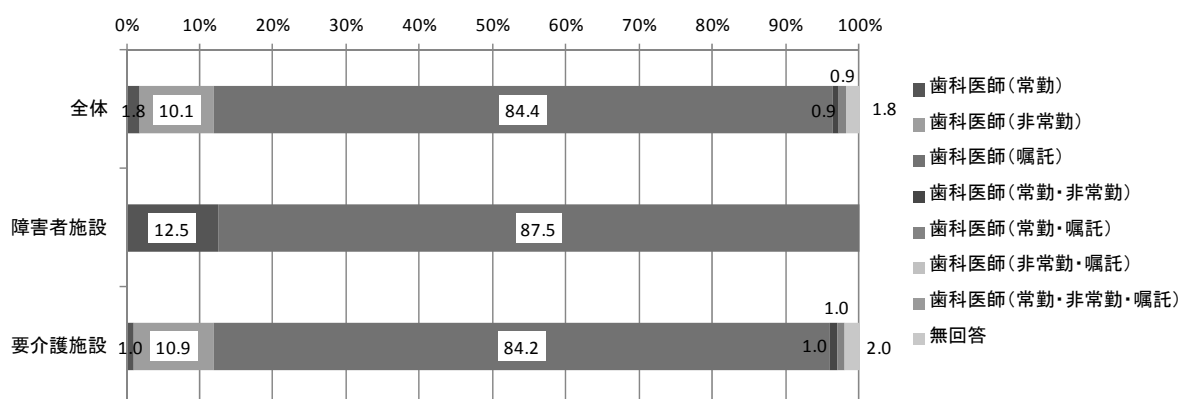
2-1補① 配置されている職種および雇用形態について、該当するものをすべて○で
 囲んで下さい。

歯科医師については、「障害者施設」、「要介護者施設」ともに「嘱託」の割合がそれぞれ87.5%、
 84.2%と最も大きくなっています。

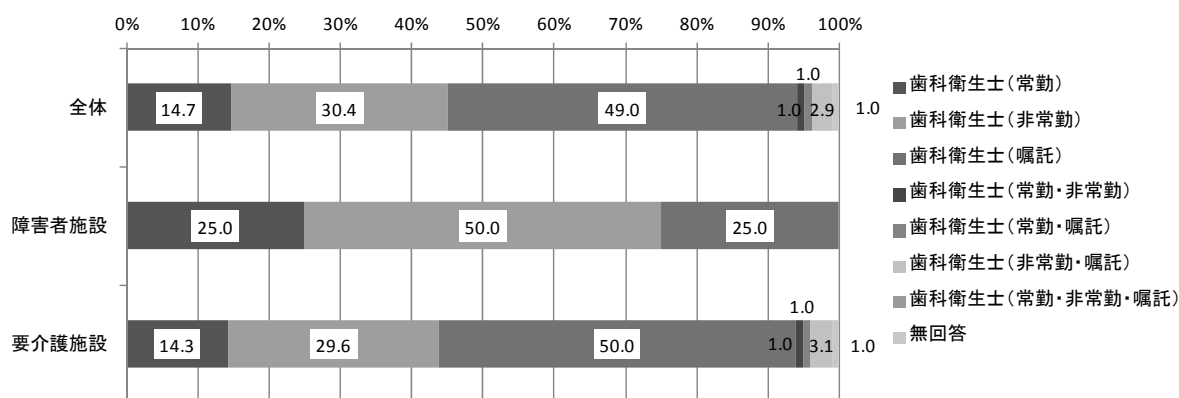
歯科衛生士については、「障害者施設」は「非常勤」の割合が最も大きく（50.0%）、「要介護
 者施設」は「嘱託」の割合が50.0%と最も大きくなっています。

※「障害者施設」は対象サンプル数が少ないため参考値

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
歯科医師(常勤)	2	1.8	0	0.0	1	25.0	1	12.5	1	1.0
歯科医師(非常勤)	11	10.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	10.9
歯科医師(嘱託)	92	84.4	4	100.0	3	75.0	7	87.5	85	84.2
歯科医師(常勤・非常勤)	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0
歯科医師(常勤・嘱託)	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0
歯科医師(非常勤・嘱託)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歯科医師(常勤・非常勤・嘱託)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	2	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.0
合計	109	100.0	4	100.0	4	100.0	8	100.0	101	100.0



項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
歯科衛生士(常勤)	15	14.7	0	0.0	1	33.3	1	25.0	14	14.3
歯科衛生士(非常勤)	31	30.4	1	100.0	1	33.3	2	50.0	29	29.6
歯科衛生士(嘱託)	50	49.0	0	0.0	1	33.3	1	25.0	49	50.0
歯科衛生士(常勤・非常勤)	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0
歯科衛生士(常勤・嘱託)	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0
歯科衛生士(非常勤・嘱託)	3	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	3.1
歯科衛生士(常勤・非常勤・嘱託)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0
合計	102	100.0	1	100.0	3	100.0	4	100.0	98	100.0

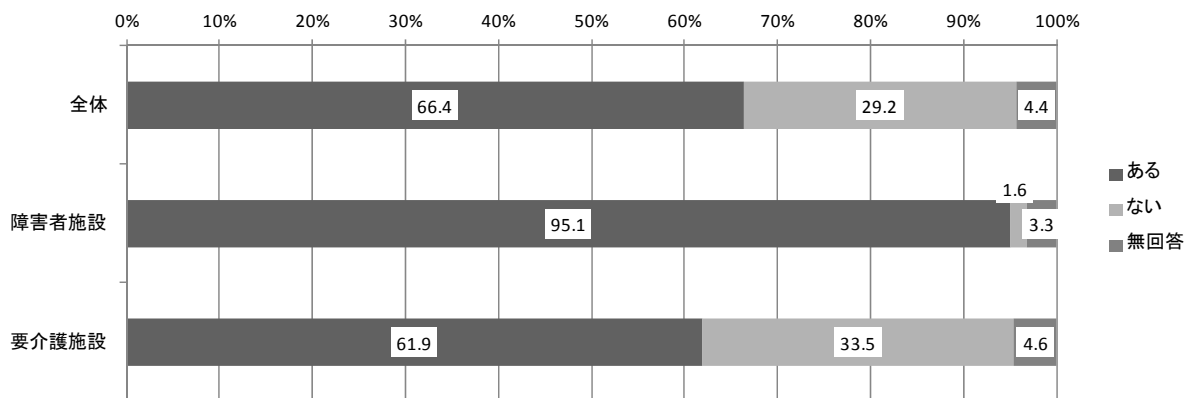


2-2 貴施設で入所の方が歯科医師による歯科健診を受ける機会がありますか？

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに「ある」の割合がそれぞれ 95.1%、61.9%と最も大きくなっています。

また、「障害者施設」の方が「要介護者施設」よりも歯科検診を受ける機会が「ある」割合が 33.2ポイント高くなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
ある	302	66.4	34	94.4	24	96.0	58	95.1	244	61.9
ない	133	29.2	1	2.8	0	0.0	1	1.6	132	33.5
無回答	20	4.4	1	2.8	1	4.0	2	3.3	18	4.6
合計	455	100.0	36	100.0	25	100.0	61	100.0	394	100.0



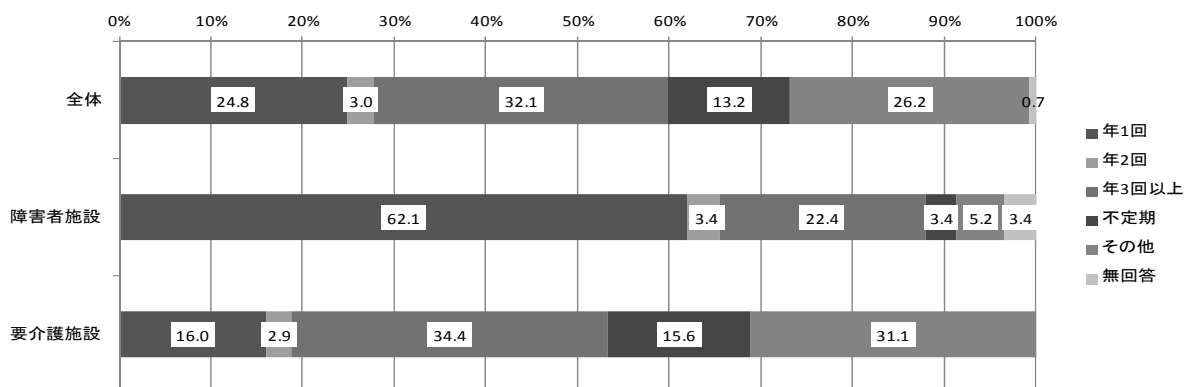
☆質問2-2で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

2-2補 歯科健診の頻度について該当するものを1つ○で囲んで下さい。

障害者施設では、「年1回」の割合が62.1%と最も大きく、要介護者施設では「年3回以上」の割合が34.4%と最も大きくなっています。

「要介護施設」の「その他」においては「必要に応じて・随時」実施が最も多く、次いで「本人・家族希望時」となっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
年1回	75	24.8	19	55.9	17	70.8	36	62.1	39	16.0
年2回	9	3.0	1	2.9	1	4.2	2	3.4	7	2.9
年3回以上	97	32.1	10	29.4	3	12.5	13	22.4	84	34.4
不定期	40	13.2	1	2.9	1	4.2	2	3.4	38	15.6
その他	79	26.2	2	5.9	1	4.2	3	5.2	76	31.1
無回答	2	0.7	1	2.9	1	4.2	2	3.4	0	0.0
合計	302	100.0	34	100.0	24	100.0	58	100.0	244	100.0



その他（障害者施設）

- ・健診は2年に1回ですが、治療は随時
- ・学校での健診が年1回、その他治療など必要に応じて歯科を受診しています。

その他（要介護者施設）

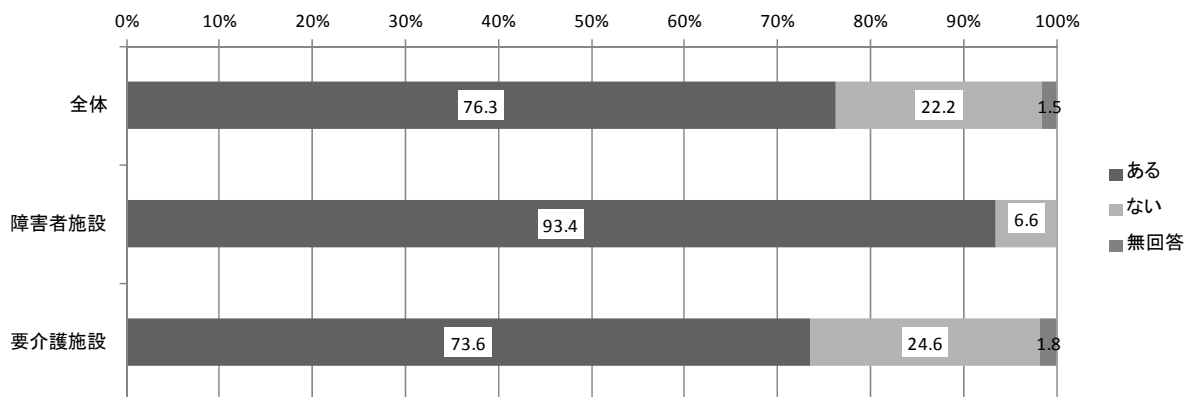
項目	件数
必要に応じて・随時	34
本人・家族希望時	22
入居時	15

- ・区切り年齢による市の無料検診時に実施。
- ・頻度に関しては規定はありません。
- ・治療のみを行っています。等

2-3 貴施設で入所の方が、歯科医師または歯科衛生士から歯の磨き方や歯科保健に関する指導を受ける機会がありますか？

「障害者施設」、「要介護者施設」ともに「ある」の割合がそれぞれ93.4%、73.6%と最も大きくなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
ある	347	76.3	34	94.4	23	92.0	57	93.4	290	73.6
ない	101	22.2	2	5.6	2	8.0	4	6.6	97	24.6
無回答	7	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	1.8
合計	455	100.0	36	100.0	25	100.0	61	100.0	394	100.0

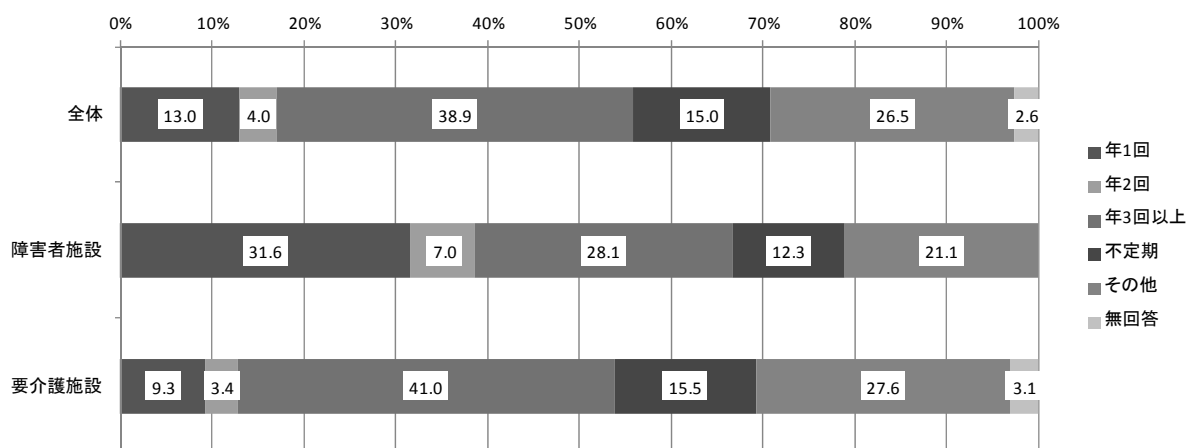


☆質問2-3で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

2-3補 その頻度について該当するものを1つ○で囲んで下さい。

「障害者施設」は「年1回」の割合が31.6%と最も大きくなっており、「要介護施設」は「年3回以上」の割合が41.0%と最も大きくなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
年1回	45	13.0	8	23.5	10	43.5	18	31.6	27	9.3
年2回	14	4.0	2	5.9	2	8.7	4	7.0	10	3.4
年3回以上	135	38.9	12	35.3	4	17.4	16	28.1	119	41.0
不定期	52	15.0	6	17.6	1	4.3	7	12.3	45	15.5
その他	92	26.5	6	17.6	6	26.1	12	21.1	80	27.6
無回答	9	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	3.1
合計	347	100.0	34	100.0	23	100.0	57	100.0	290	100.0



その他（障害者施設）

項目	件数
歯科受診、往診時	6

- ・本人、家族より希望があれば、センター内に併設されている歯科に受診できる。
- ・障害特性に応じて行っている。
- ・今のところ健診希望者なし 等

その他（要介護施設）

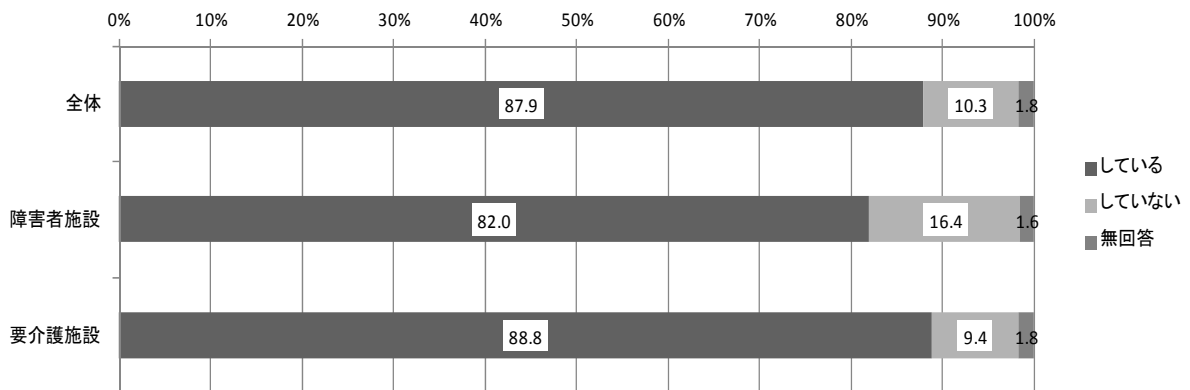
項目	件数
必要に応じ、随時	34
歯科受診、往診時	23
希望時	6
2年に1回	1

- ・入所後に、併設病院より歯科医師のチェックあり。
- ・機会はあるのですが、説明を理解できる利用者様が少ないです。
- ・不定期で行っていますが、個人差があります。等

2-4 歯科健診、歯科医師等による歯磨き・歯科保健指導以外に、入所者の方のむし歯や歯周病の予防のために、なにか取り組みをされていますか？

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに「している」の割合がそれぞれ82.0%、88.8%と最も大きくなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
している	400	87.9	30	83.3	20	80.0	50	82.0	350	88.8
していない	47	10.3	5	13.9	5	20.0	10	16.4	37	9.4
無回答	8	1.8	1	2.8	0	0.0	1	1.6	7	1.8
合計	455	100.0	36	100.0	25	100.0	61	100.0	394	100.0

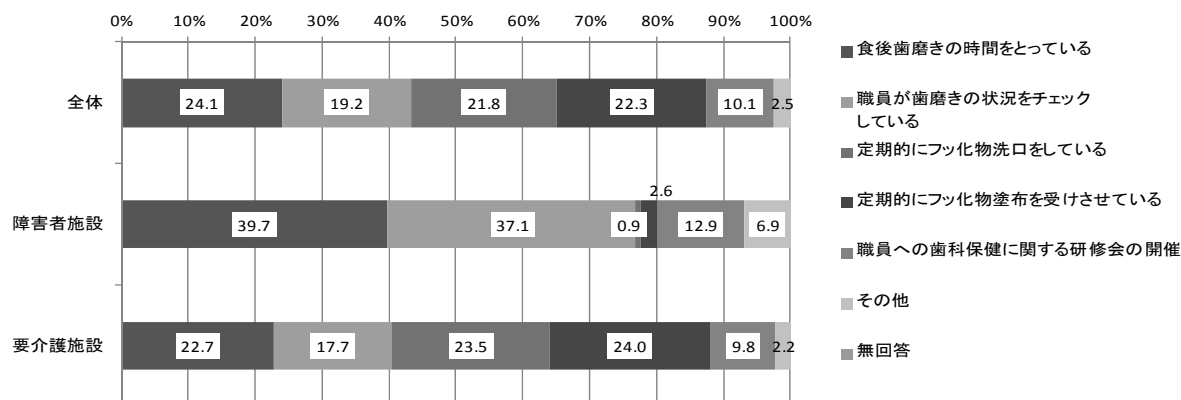


☆質問2-4で「a. している」と回答された方にお伺い致します。

2-4補 実施している取り組みの内容で、あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

「障害者施設」、「要介護者施設」ともに「食後歯磨きの時間を取っている」の割合がそれぞれ39.7%、22.7%と最も大きくなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
食後歯磨きの時間をとっている	359	24.1	29	40.3	17	38.6	46	39.7	313	22.7
職員が歯磨きの状況をチェックしている	287	19.2	26	36.1	17	38.6	43	37.1	244	17.7
定期的にフッ化物洗口をしている	325	21.8	0	0.0	1	2.3	1	0.9	324	23.5
定期的にフッ化物塗布を受けさせている	333	22.3	2	2.8	1	2.3	3	2.6	330	24.0
職員への歯科保健に関する研修会の開催	150	10.1	9	12.5	6	13.6	15	12.9	135	9.8
その他	38	2.5	6	8.3	2	4.5	8	6.9	30	2.2
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	1,492	100.0	72	100.0	44	100.0	116	100.0	1,376	100.0



その他（障害者施設）

- ・月1回、口腔ケアを取り組みとして行っている
- ・歯科衛生士による歯みがき指導を年2回、利用者・職員で受けている。等

その他（要介護者施設）

- ・嚥下内視鏡検査、口腔機能維持指導
- ・口腔ケア体操、舌磨き、保湿剤塗布
- ・歯科衛生士より磨き方の指導を受けている
- ・職員に対する、口腔ケア技術のレベルチェックと指導 等

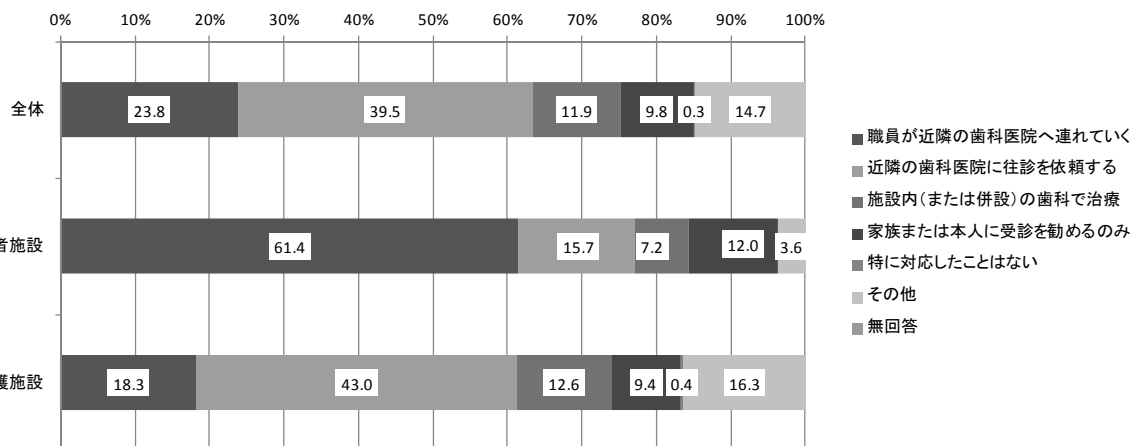
2-5 貴施設で入所者の方が、むし歯などの歯科治療が必要となったとき、どのような対応をされていますか？

あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

「障害者施設」は「職員が近隣の歯科医院へ連れて行く」の割合が61.4%と最も大きくなっており、「要介護者施設」は「近隣の歯科医院へ往診を依頼する」の割合が43.0%と最も大きくなっています。

その他に関しては、「障害者施設」、「要介護者施設」とも「協力医療機関の定期往診にて対応」が多くを占めていますが、「要介護者施設」においては「家族が連れて行く、家族同伴で行く」という意見も多くみられました。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
	件数	%	尾張		三河		計		件数	%
			件数	%	件数	%	件数	%		
職員が近隣の歯科医院へ連れていく	154	23.8	30	62.5	21	60.0	51	61.4	103	18.3
近隣の歯科医院に往診を依頼する	255	39.5	9	18.8	4	11.4	13	15.7	242	43.0
施設内(または併設)の歯科で治療	77	11.9	3	6.3	3	8.6	6	7.2	71	12.6
家族または本人に受診を勧めるのみ	63	9.8	4	8.3	6	17.1	10	12.0	53	9.4
特に対応したことはない	2	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.4
その他	95	14.7	2	4.2	1	2.9	3	3.6	92	16.3
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	646	100.0	48	100.0	35	100.0	83	100.0	563	100.0



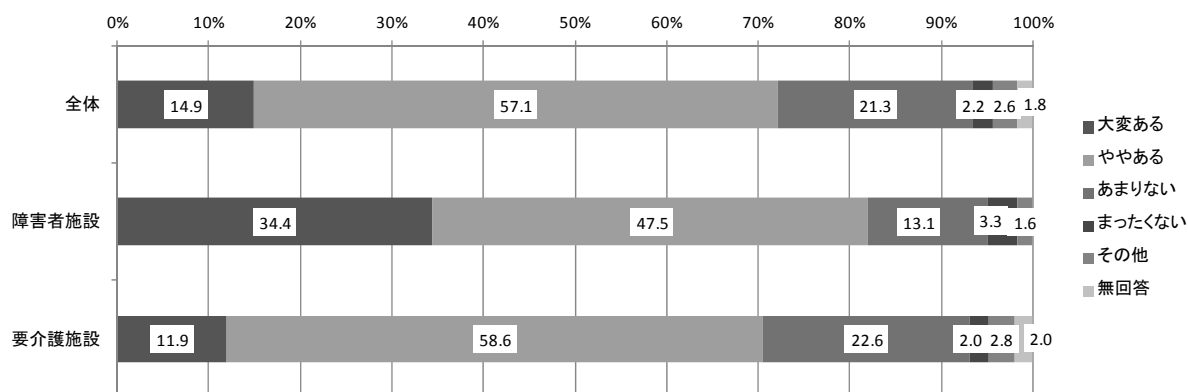
その他（要介護者施設）

項目	件数
協力医療機関等の定期往診にて対応	67
家族が連れていく、家族同伴	24

2-6 貴施設の入所者の方の歯や口のことに関して、問題を感じることはどの程度ありますか？あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「障害者施設」、「要介護施設」とともに「ややある」の割合がそれぞれ47.5%、58.6%とも大きくなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
大変ある	68	14.9	16	44.4	5	20.0	21	34.4	47	11.9
ややある	260	57.1	14	38.9	15	60.0	29	47.5	231	58.6
あまりない	97	21.3	3	8.3	5	20.0	8	13.1	89	22.6
まったくない	10	2.2	2	5.6	0	0.0	2	3.3	8	2.0
その他	12	2.6	1	2.8	0	0.0	1	1.6	11	2.8
無回答	8	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	2.0
合計	455	100.0	36	100.0	25	100.0	61	100.0	394	100.0



その他（障害者施設）

- ・治療や指導に、特性により応じて頂けない利用者がある。

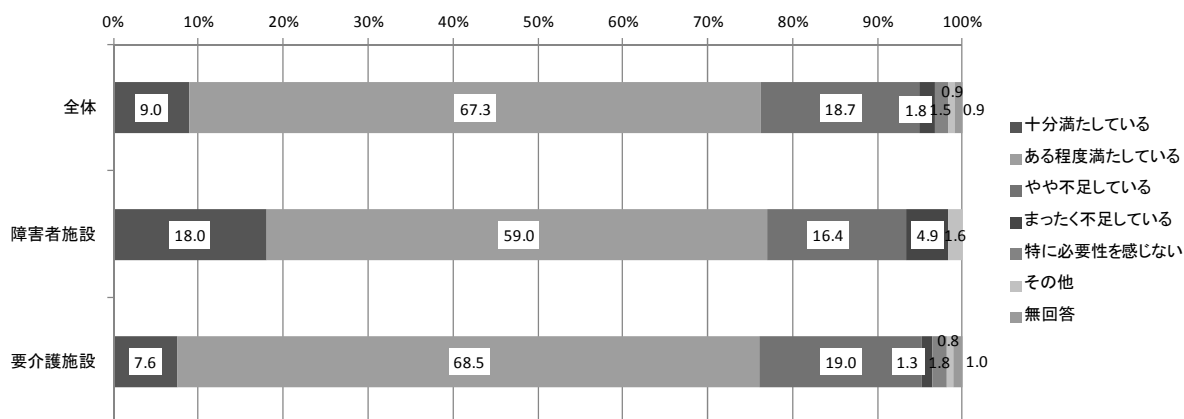
その他（要介護施設）

- ・定期的に健診を受けているが、スタッフによる日常の介助量が不足
- ・自立の為の口腔ケアはなかなか進まず、介助してしまうことが多い
- ・口腔歯肉等の状況で、対応困難なケースが時にある。認知症等の進行による
- ・拒否が強い入居者や、自分で歯みがきが出来ない人が十分に管理が出来ない時がある。 等

2-7 貴施設での歯科保健活動は入所者の方のニーズを満たしていると思いますか？
 あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに「ある程度満たしている」の割合がそれぞれ 59.0%、68.5%と最も大きくなっています。

項目	全体		障害者施設						要介護施設	
			尾張		三河		計			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
十分満たしている	41	9.0	6	16.7	5	20.0	11	18.0	30	7.6
ある程度満たしている	306	67.3	22	61.1	14	56.0	36	59.0	270	68.5
やや不足している	85	18.7	7	19.4	3	12.0	10	16.4	75	19.0
まったく不足している	8	1.8	0	0.0	3	12.0	3	4.9	5	1.3
特に必要性を感じない	7	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	1.8
その他	4	0.9	1	2.8	0	0.0	1	1.6	3	0.8
無回答	4	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	1.0
合計	455	100.0	36	100.0	25	100.0	61	100.0	394	100.0



その他（障害者施設）

- ・利用者 1 人当たりの歯科健診の頻度が足りない。1 人年 3 回は必要と考えます。

その他（要介護施設）

- ・必要時、家族に歯科受診を勧めている。利用者様それぞれかかりつけの歯科医がいる。
- ・入居者が意思疎通できる方が少ないため不明。
- ・歯科保健活動を受けたことがない。

☆質問2-7で「c. やや不足している」または「d. まったく不足している」と回答された方にお伺い致します。

2-7補 不足していると考えられる点はどのような事でしょうか？できるだけ具体的にご記入下さい。

【障害者施設】

「歯科診療」や「口腔ケア」への意識はあるのだが、「職員の体制・知識不足」や「入居者の状況（障害特性）」などの理由により、満足な時間があてられない状況がうかがえます。

その他

- ・ 歯科健診後の受診になかなか繋がらない。
- ・ 全ての利用者が歯科受診する機会はあるが、口腔ケアの職員の意識や知識が不足している。
- ・ 歯石除去、歯科クリーニング等への通院が、職員の付添のもとだけではなかなか行えない。
- ・ 口を閉じてしまう人の歯磨きが不十分 等

【要介護者施設】

最も多いのは「口腔ケアに費やせる時間の不足」となっており、次に「職員の口腔ケアの知識や意識の不足」があげられています。

1人が介護度の異なる複数の入居者を介助しており、食後の口腔ケアへ平等に対応することが困難なうえ、歯科衛生士も十分な人数ではないことから、指導や研修も不足して知識や意識の不足につながっている状況がうかがえます。

その他

- ・ 職員の口腔ケアの方法が統一されていない。
- ・ 全体的に口腔ケアに対しての職員の意識不足を感じる。
- ・ 予防機能に欠ける。（全ての入所の方が一律に歯科検診を受ける機会がない）
- ・ 自立支援を意識してのケアができていない。
- ・ 高齢者の義歯調整は、歯茎が痩せ調整が難しい。
- ・ 寝たきりの方の口腔ケア。
- ・ 訪問の為、急ぎでの対応が困難な点。
- ・ 現在、何もしていないため 等

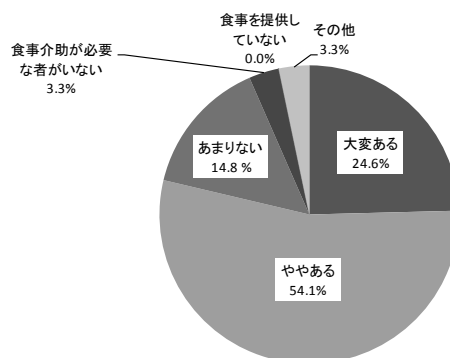
■障害者施設のための質問

3. 貴施設での食介助、食べる機能(摂食機能)の維持・向上に関する状況についてお伺い致します。

3-1 貴施設の入所者の方の食事介助に関して、問題を感じることはどの程度ありますか？ あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「ややある」の割合が54.1%と最も大きく、次いで「大変ある」の割合が24.6%となっています。

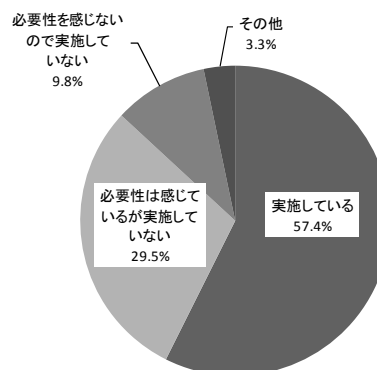
項目	全体		尾張		三河	
	件数	%	件数	%	件数	%
大変ある	15	24.6	10	27.8	5	20.0
ややある	33	54.1	18	50.0	15	60.0
あまりない	9	14.8	4	11.1	5	20.0
食事介助が必要な者がいない	2	3.3	2	5.6	0	0.0
食事を提供していない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	2	3.3	2	5.6	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	61	100.0	36	100.0	25	100.0



3-2 貴施設では、食べたり・飲み込んだりすることに問題のある入所者の方に、食べる機能(摂食機能)の維持・向上を図るための指導・訓練を実施していますか？ あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「実施している」の割合が57.4%と最も大きく、次いで「必要性は感じているが実施していない」が29.5%となっています。

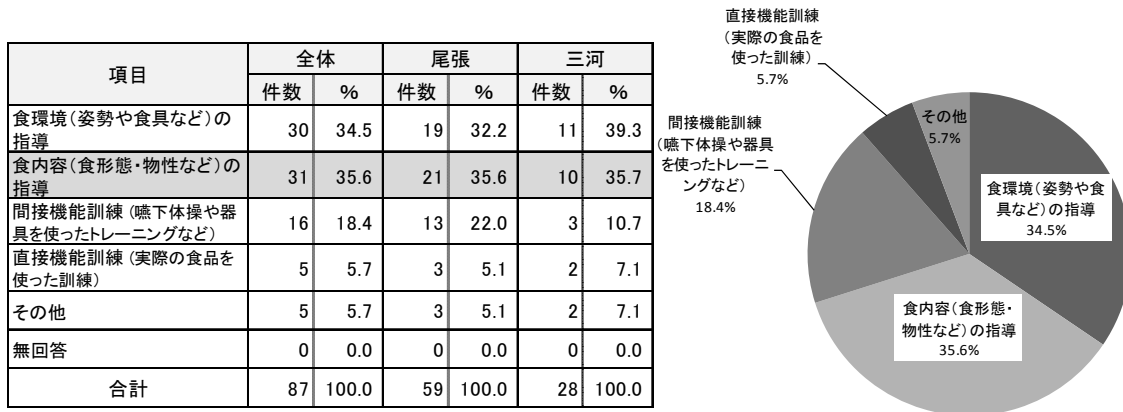
項目	全体		尾張		三河	
	件数	%	件数	%	件数	%
実施している	35	57.4	23	63.9	12	48.0
必要性は感じているが実施していない	18	29.5	8	22.2	10	40.0
必要性を感じないので実施していない	6	9.8	3	8.3	3	12.0
その他	2	3.3	2	5.6	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	61	100.0	36	100.0	25	100.0



☆質問3-2で「a. 実施している」と回答された方にお伺い致します。

3-2補① 実施されている指導・訓練の内容について該当するものすべてを○で囲んで下さい。

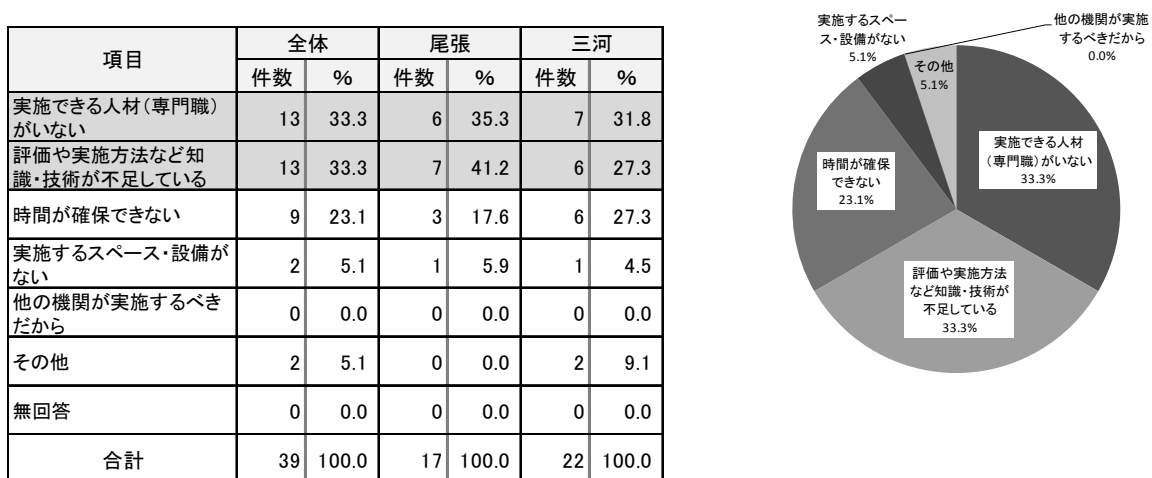
「食内容（食形態・物性など）の指導」の割合が35.6%と最も大きく、次いで「食内容（食形態・物性など）の指導」が34.5%とほぼ同じ割合となっています。



★質問3-2で「b. 必要性は感じるが実施していない」と回答された方にお伺い致します。

3-2補② 実施していない理由として該当するものすべてを○で囲んで下さい。

「実施できる人材がほとんどいない」と「評価や実施方法など知識・技術が不足している」の割合がそれぞれ33.3%で最も大きく、次いで「時間が確保できない」の割合が23.1%となっています。

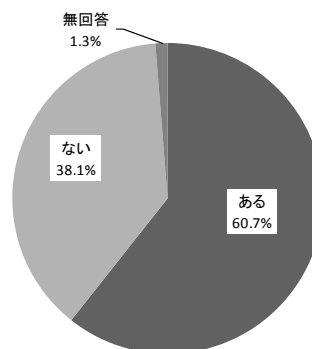


■要介護者施設のための質問

3. 最後に貴施設の併設施設の有無あるいは種別についてお伺い致します。

「ある」の割合が60.7%、「ない」の割合が38.1%となっています。

項目	全体	
	件数	%
ある	239	60.7
ない	150	38.1
無回答	5	1.3
合計	394	100.0



☆質問3で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

3補①. その施設の種別を具体的にお書き下さい。

「デイサービス」が最も多く、次いで「ショートステイ」、「病院・診療所（クリニック）・医療機関」となっています。

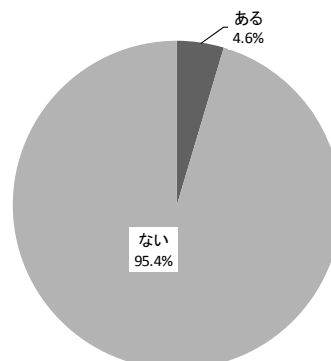
項目	件数
デイサービス	104
ショートステイ	97
病院・診療所(クリニック)	61

※上位3項目、以下居宅介護支援事業所、ケアハウス、グループホーム 等

3補②. その施設に歯科はありますか

「ない」の割合が95.1%とほとんどの併設施設において歯科はありません。

項目	全体	
	件数	%
ある	11	4.6
ない	228	95.4
無回答	0	0.0
合計	239	100.0



Ⅲ. 訪問アンケート結果

【訪問件数】

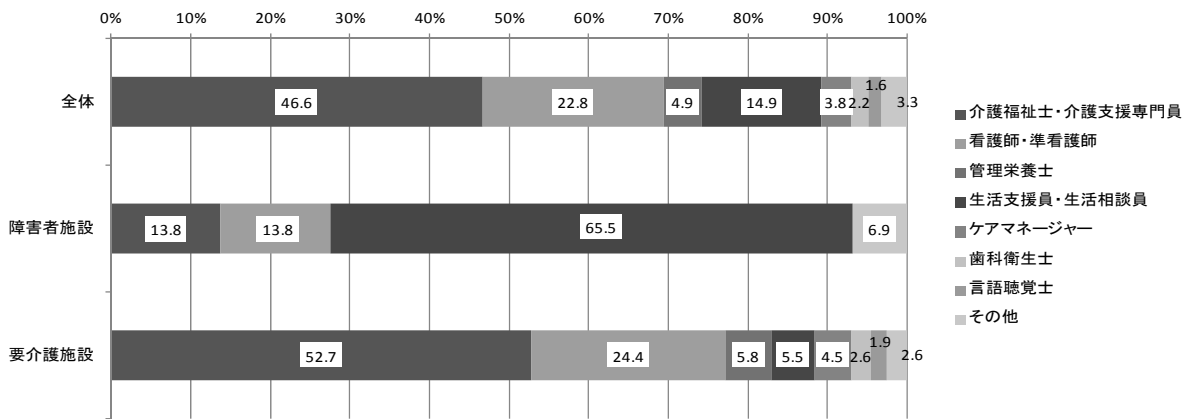
施設種別	訪問件数	回収数
障害者施設	15	58
要介護者施設	102	311
合計	117	369

1. 職種について

「障害者施設」では、「生活支援員・生活指導員」の割合が65.5%と最も大きく、「要介護者施設」では、「介護士・介護支援専門員」の割合が52.7%と最も大きくなっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
介護福祉士・介護支援専門員	172	46.6	8	13.8	164	52.7
看護師・准看護師	84	22.8	8	13.8	76	24.4
管理栄養士	18	4.9	0	0.0	18	5.8
生活支援員・生活相談員	55	14.9	38	65.5	17	5.5
ケアマネージャー	14	3.8	0	0.0	14	4.5
歯科衛生士	8	2.2	0	0.0	8	2.6
言語聴覚士	6	1.6	0	0.0	6	1.9
その他	12	3.3	4	6.9	8	2.6
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	369	53.4	58	86.2	311	47.3

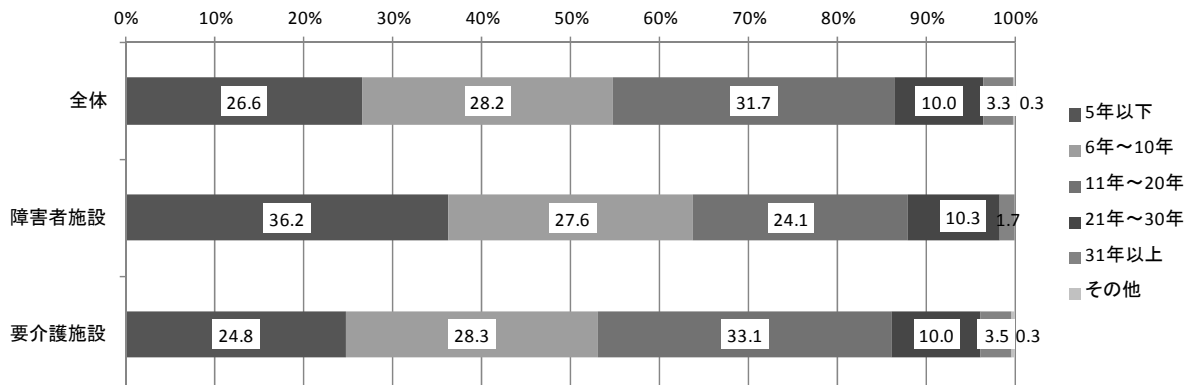
その他・・・「ケアワーカー」、「サービス管理責任者」、「歯科助手」、「理学療法士」等



2. 従事年数について

「障害者施設」では、「5年以下」の割合が36.2%と最も大きく、「要介護施設」では、「11年～20年」の割合が33.1%と最も大きくなっております。

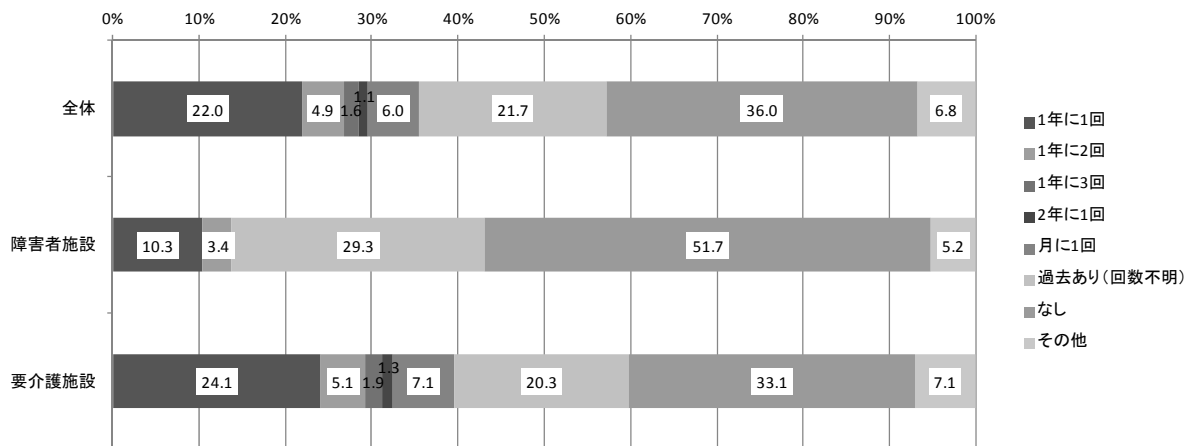
項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
5年以下	98	26.6	21	36.2	77	24.8
6年～10年	104	28.2	16	27.6	88	28.3
11年～20年	117	31.7	14	24.1	103	33.1
21年～30年	37	10.0	6	10.3	31	10.0
31年以上	12	3.3	1	1.7	11	3.5
その他	1	0.3	0	0.0	1	0.3
合計	369	100.0	58	100.0	311	100.0



3. 歯科保健に関する講習会等の受講状況

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに、「なし」の割合がそれぞれ 51.7%、33.1%と最も大きく、次いで「障害者施設」は「過去あり（回数不明）」の割合が 29.3%、「要介護者施設」は「1年に1回」の割合が 24.1%となっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
1年に1回	81	22.0	6	10.3	75	24.1
1年に2回	18	4.9	2	3.4	16	5.1
1年に3回	6	1.6	0	0.0	6	1.9
2年に1回	4	1.1	0	0.0	4	1.3
月に1回	22	6.0	0	0.0	22	7.1
過去あり(回数不明)	80	21.7	17	29.3	63	20.3
なし	133	36.0	30	51.7	103	33.1
その他	25	6.8	3	5.2	22	7.1
合計	369	100.0	58	100.0	311	100.0



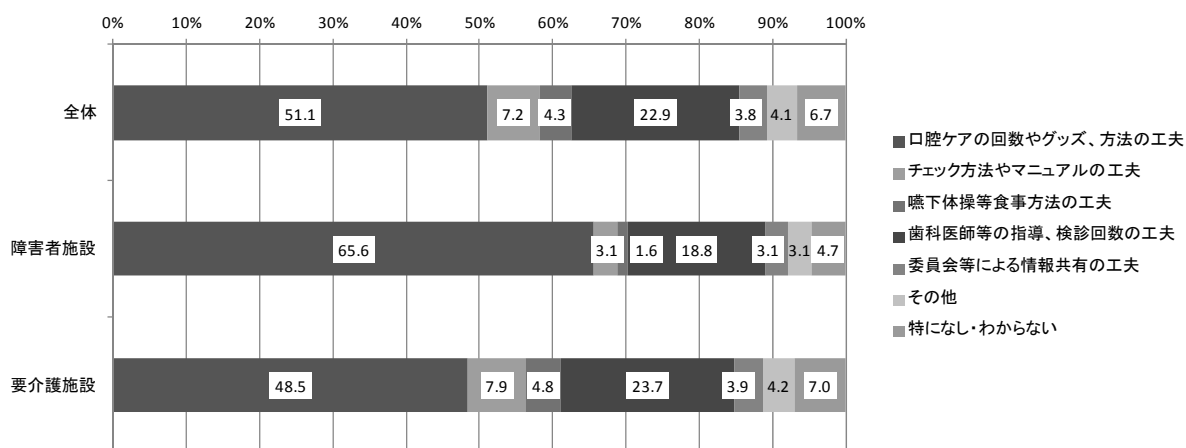
その他（障害者施設）・・・2ヶ月に1回、関連セミナーは院内外問わず受ける 等

その他（要介護者施設）・・・年に数回、訪問歯科の口腔ケア勉強会、改定があるたび受講 等

4. 施設での歯科保健サービス提供にあたり工夫していること

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに、「口腔ケアの回数やグッズ、方法の工夫」の割合がそれぞれ 65.6%、48.5%と最も大きく、次いで「歯科医師等の指導・検診回数の工夫」が 18.8%、23.7%となっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
口腔ケアの回数やグッズ、方法の工夫	214	51.1	42	65.6	172	48.5
チェック方法やマニュアルの工夫	30	7.2	2	3.1	28	7.9
嚥下体操等食事方法の工夫	18	4.3	1	1.6	17	4.8
歯科医師等の指導、検診回数の工夫	96	22.9	12	18.8	84	23.7
委員会等による情報共有の工夫	16	3.8	2	3.1	14	3.9
その他	17	4.1	2	3.1	15	4.2
特になし・わからない	28	6.7	3	4.7	25	7.0
合計	419	100.0	64	100.0	355	100.0



その他（障害者施設）

- ・施設や部署でそこにあった指導に力を入れている。

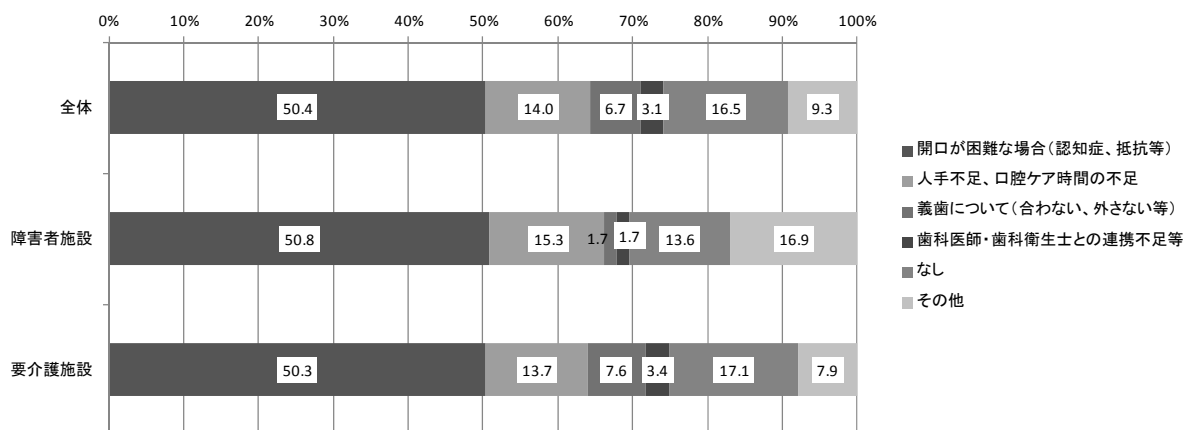
その他（要介護者施設）

- ・各自に合わせた、食形態の選定
- ・話をしながら行う
- ・スムーズに治療するために、治療時の呼び出しのタイミングを工夫している。等

5. 施設での歯科保健サービス提供にあたり障害となっていること

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに、「開口が困難な場合」の割合がそれぞれ 50.8%、50.3%と最も大きく、次いで「障害者施設」は「その他」の割合が 16.9%、「要介護者施設」は「なし」の割合が 17.1%となっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
開口が困難な場合(認知症、抵抗等)	195	50.4	30	50.8	165	50.3
人手不足、口腔ケア時間の不足	54	14.0	9	15.3	45	13.7
義歯について(合わない、外さない等)	26	6.7	1	1.7	25	7.6
歯科医師・歯科衛生士との連携不足等	12	3.1	1	1.7	11	3.4
なし	64	16.5	8	13.6	56	17.1
その他	36	9.3	10	16.9	26	7.9
合計	387	100.0	59	100.0	328	100.0



その他（障害者施設）

- ・ 歯の無い人の支援。
- ・ 重度の方が増えてきており、なかなか歯科へ連れて行けない。等

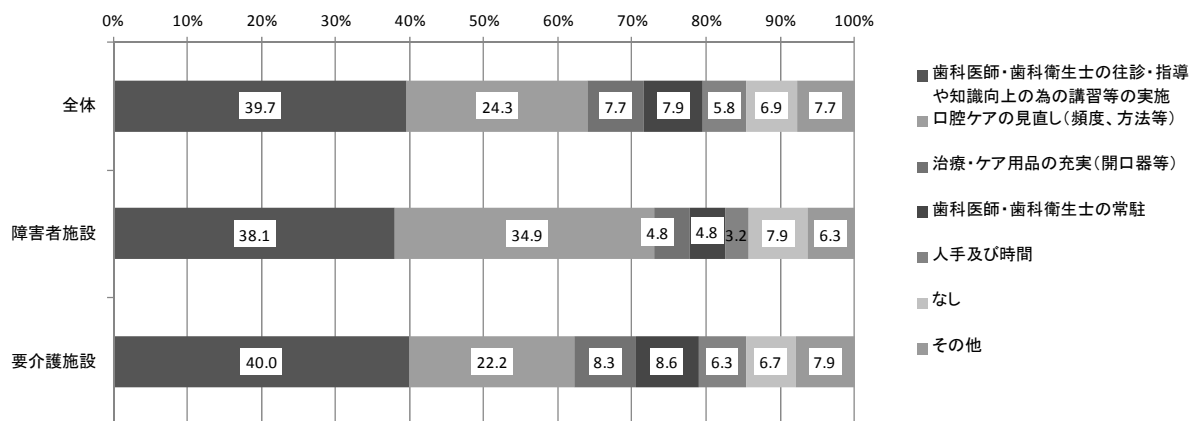
その他（要介護者施設）

- ・ 歯ブラシ、舌ブラシ程度しかないので、細かい所まで出来ない。
- ・ 実際にはきちんと口腔ケアが出来ていない。ケアに個人差がある。
- ・ 職員への情報が少なく、個々で知識を持っていない。等

6. 今後入所者の歯科保健向上のため必要であると考えていること

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに、「歯科医師・歯科衛生士の往診・指導や知識向上の為の講習等の実施」の割合がそれぞれ38.1%、40.0%と最も大きく、次いで「口腔ケアの見直し（頻度・方法等）」が34.9%、22.2%となっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
歯科医師・歯科衛生士の往診・指導や知識向上の為の講習等の実施	150	39.7	24	38.1	126	40.0
口腔ケアの見直し(頻度、方法等)	92	24.3	22	34.9	70	22.2
治療・ケア用品の充実(開口器等)	29	7.7	3	4.8	26	8.3
歯科医師・歯科衛生士の常駐	30	7.9	3	4.8	27	8.6
人手及び時間	22	5.8	2	3.2	20	6.3
なし	26	6.9	5	7.9	21	6.7
その他	29	7.7	4	6.3	25	7.9
合計	378	36.0	63	27.0	315	37.8



その他（障害者施設）

- ・今のサービスを継続する事。現場と歯科との連携強化
- ・入所者の家族にも、口腔ケアの知識や情報を認識してもらう事。等

その他（要介護者施設）

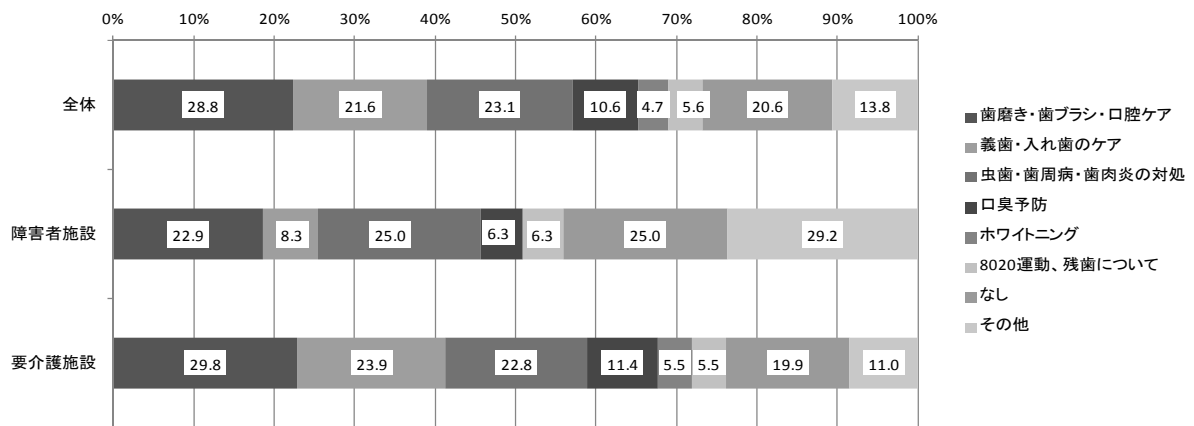
- ・加算とっている先生をお願いしている。
- ・在宅の方達への予防を施設で行う事。口腔の計画をサービス提供に入れ込む。等

7. 日頃、歯の事に関心があること

「障害者施設」では、「その他」の割合が 29.2%と最も大きく、「要介護施設」では、「歯磨き・歯ブラシ・口腔ケア」の割合が 29.8%と最も大きくなっております。

「要介護施設」は「義歯・入れ歯のケア」の割合が 23.9%と 2 番目に大きく、「障害者施設」より 15.6 ポイント高くなっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
歯磨き・歯ブラシ・口腔ケア	92	28.8	11	22.9	81	29.8
義歯・入れ歯のケア	69	21.6	4	8.3	65	23.9
虫歯・歯周病・歯肉炎の対処	74	23.1	12	25.0	62	22.8
口臭予防	34	10.6	3	6.3	31	11.4
ホワイトニング	15	4.7	0	0.0	15	5.5
8020運動、残歯について	18	5.6	3	6.3	15	5.5
なし	66	20.6	12	25.0	54	19.9
その他	44	13.8	14	29.2	30	11.0
合計	320	100.0	48	100.0	272	100.0



その他（障害者施設）

- ・食事面で歯を丈夫にする事は出来るか？
- ・歯の再生医療 等

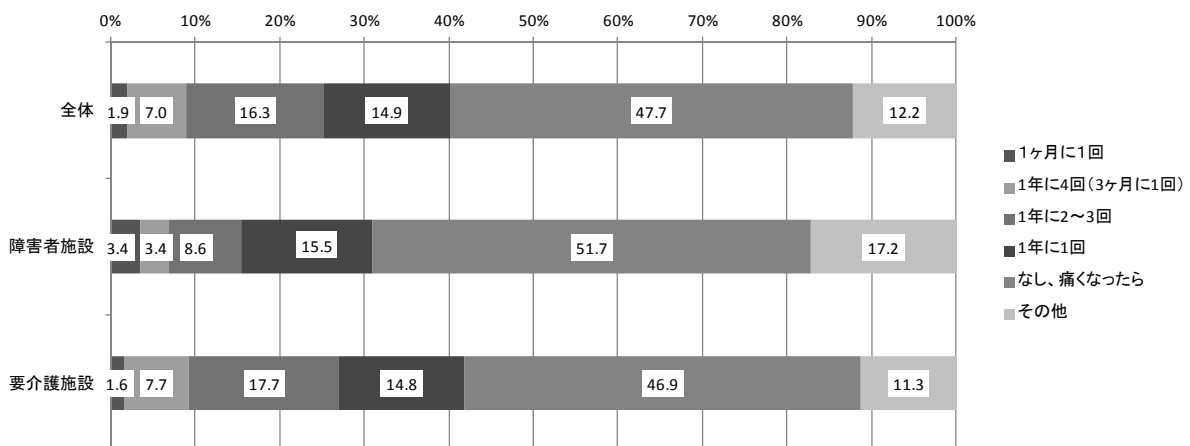
その他（要介護者施設）

- ・抜歯の必要性、インプラントの耐久性
- ・歯の矯正、歯並びについて 等

8. ご自身の定期歯科受診の有無、(有の場合)頻度はどれくらいですか

「障害者施設」、「要介護者施設」ともに、「なし、痛くなったら」の割合がそれぞれ 51.7%、46.9%と最も大きく、次いで「障害者施設」は「その他」の割合が 17.2%、「要介護者施設」は「1年に2～3回」の割合が 17.7%となっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
1ヶ月に1回	7	1.9	2	3.4	5	1.6
1年に4回(3ヶ月に1回)	26	7.0	2	3.4	24	7.7
1年に2～3回	60	16.3	5	8.6	55	17.7
1年に1回	55	14.9	9	15.5	46	14.8
なし、痛くなったら	176	47.7	30	51.7	146	46.9
その他	45	12.2	10	17.2	35	11.3
合計	369	100.0	58	100.0	311	100.0



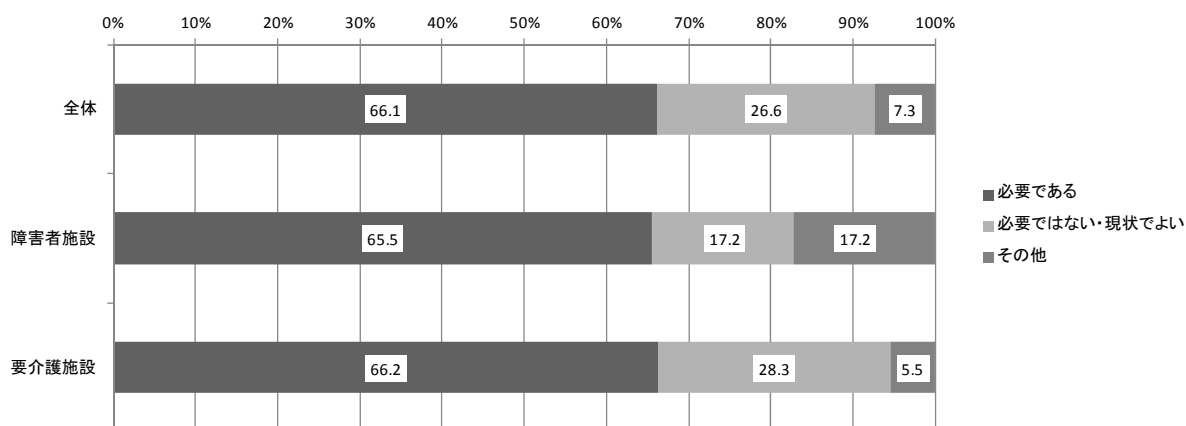
その他（障害者施設、要介護者施設とも）

・・・ 2ヶ月に1回、2年に1回、治療中、あり（回数不明）、不定期 等

9. 歯科医師と管理栄養士との連携の必要度(食形態の決定等)について、どのように感じていますか。

「障害者施設」、「要介護者施設」とともに、「必要である」の割合がそれぞれ 65.5%、66.2% となっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
必要である	244	66.1	38	65.5	206	66.2
必要ではない・現状でよい	98	26.6	10	17.2	88	28.3
その他	27	7.3	10	17.2	17	5.5
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	369	100.0	58	100.0	311	100.0



その他（障害者施設）

- ・食事形態は施設全体で委員会を作り、毎月検討している。栄養士との連携は必要不可欠。
- ・加えてSTとの連携も必要。出来たら施設には、管理栄養士、STは常駐してほしい。等

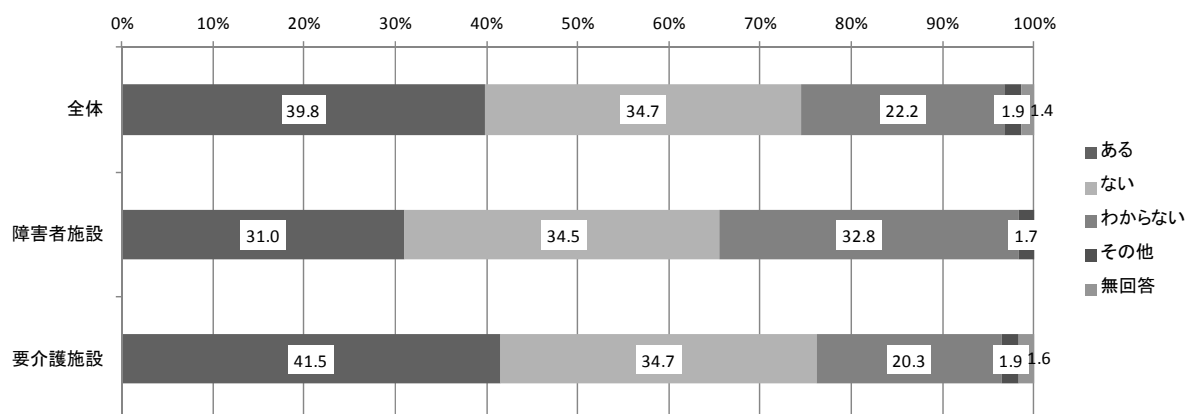
その他（要介護者施設）

- ・食形態の決定、義歯状況の把握など連携は必要
- ・看護師との連携も必要と思う。
- ・月に1～2回、栄養カンファレンスが開催されている。
- ・嚥下状態についても栄養士、歯科医師の意見はしっかりつなげるべきだと思います。

10. 歯科医師間で治療の内容に差があると感じることがありますか

「障害者施設」では、「ない」の割合が 34.5%と最も大きく、「要介護施設」では、「ある」の割合が 41.5%と最も大きくなっています。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
ある	147	39.8	18	31.0	129	41.5
ない	128	34.7	20	34.5	108	34.7
わからない	82	22.2	19	32.8	63	20.3
その他	7	1.9	1	1.7	6	1.9
無回答	5	1.4	0	0.0	5	1.6
合計	369	100.0	58	100.0	311	100.0



「ある」という回答の具体例

【障害者施設】

- ・治療方針が、医師によって見解が変わった。
- ・抜いてしまう医者と抜かない治療がある。
- ・虫歯の存在を見落とす人と、見つける人がいた。
- ・予防に重点を置いている歯科医とそうでない歯科医がいる。

【要介護者施設】

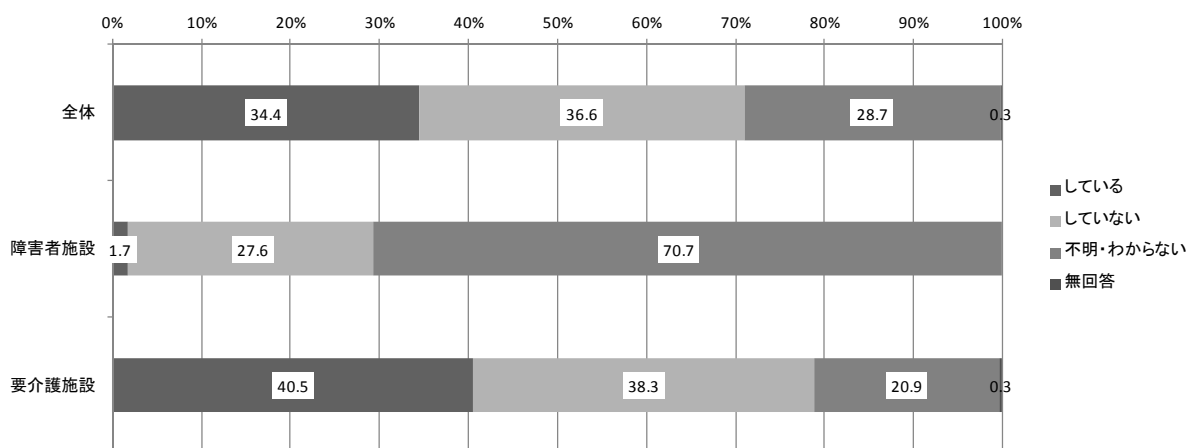
- ・特に認知症に対する対応が出来る方は少ない。
- ・長くなる時と、短い時がある。
- ・先生の考え方により、基準となる治療方針に違いを感じる。
- ・治療日数や治療方法に差を感じる。

11. 口腔機能維持管理加算は算定していますか。していない場合は理由は何ですか

口腔機能維持管理加算の算定について、「障害者施設」では「不明・分からない」の割合が70.7%と最も大きく、「要介護施設」では、「している」の割合が40.5%と最も大きくなっています。

本調査の「障害者施設」においては、ヒアリング先の6割以上が「生活支援員・生活相談員」であった点が、「不明・わからない」の割合が大きくなった理由の一つと思われます。

項目	全体		障害者施設		要介護施設	
	件数	%	件数	%	件数	%
している	127	34.4	1	1.7	126	40.5
していない	135	36.6	16	27.6	119	38.3
不明・わからない	106	28.7	41	70.7	65	20.9
無回答	1	0.3	0	0.0	1	0.3
合計	369	100.0	58	100.0	311	100.0



IV. まとめ

1. 障害者施設

<施設・属性について>

郵送アンケートに回答頂いた施設は、入所者数が「21～50人」の施設が50.8%と半数以上を占め、入所者の64歳以下は「知的障害」が6割以上(18歳未満62.5%、18～64歳65.0%)、65歳以上は「身体障害」が5割以上(56.0%)となっています。

また、8割以上(83.6%)の施設で歯科医師や歯科衛生士は配置されておらず、配置されている施設では、歯科医師の9割近く(87.5%)が「嘱託」で、歯科衛生士の半数(50.0%)が「非常勤」となっています。【郵送1-1, 1-2, 2-1, 2-1 補】

訪問調査の回答者は、「生活支援員・生活相談員」が65.5%と6割以上であるとともに、勤続年数は「5年以下」が約4割(36.2%)となっています。【訪問1, 2】

<歯科検診・指導について>

入所者が歯科医の歯科検診を受ける機会がある施設は、9割以上(95.1%)で、回数は「年1回」が6割以上(62.1%)となっており、「要介護者施設」よりも33.2ポイント高くなっています。

歯科医師または歯科衛生士から歯の磨き方や歯科保健に関する指導を受ける機会も、9割以上(93.4%)であり、回数は「年1回」(31.6%)と「年3回以上」(28.1%)の合計でおおよそ6割(59.7%)となっています。一方、従事者側は、自身の歯科受診は「なし、痛くなったら」が半数以上の51.7%、歯科保健に関する講習会等の受講状況は「なし」が半数以上(51.7%)となっています。

歯科検診・指導以外のむし歯や歯周病の予防のための取り組みも、8割以上(82.0%)の施設で取り組んでおり、「食後歯磨きの時間を取っている」(39.7%)と「職員が歯磨きの状況をチェックしている」37.1%で7割以上となっています。

【郵送2-2, 2-2 補, 2-3, 2-3 補, 2-4, 2-4 補】【訪問3, 8】

<歯科治療が必要な入所者への対応及び歯や口に関する問題意識>

入所者の歯科治療に関しては「職員が近隣の歯科医院へ連れて行く」が6割以上(61.4%)となっています。

歯や口に関する問題意識については、「ややある」(47.5%)と「大変ある」(34.4%)の合計で81.9%と8割以上の施設で何かしらの問題を感じています。ただし、施設の歯科保健活動については、8割近くが「入所者のニーズを満たしている」と回答しています。(ある程度満たしている59.0%と十分満たしている18.0%の合計77.0%)

入居者のニーズを満たせていない理由は、「歯科診療」や「口腔ケア」への意識はあるのだが、「職員の体制・知識不足」や「入居者の状況（障害特性）」などの理由により、満足な時間があてられない状況がうかがえます。

【郵送 2-5, 2-6, 2-7, 2-7 補】

<歯科保健サービス提供時の工夫、障害と今後必要なこと>

工夫は「口腔ケアの回数やグッズ、方法の工夫」が 65.6%と 6 割以上となっており、提供時の障害としてあげられた「開口が困難な場合」を改善するための「開口器」という意見も多く見られました。

障害については「開口が困難な場合」が 50.8%と半数以上を占めており、現場における大きな課題となっている様子がうかがえます。「要介護者施設」においても同じ課題が最も多くあげられています。(50.3%)

今後必要なことは、「歯科医師・歯科衛生士の往診・指導や知識向上の為の講習等の実施」が 38.1%となっており、現在はあまり配置されていない歯科医師や歯科衛生士の常駐を望む声も多く見られました。次いで「口腔ケアの見直し（頻度・方法等）」が 34.9%となっています。【訪問 4, 5, 6】

<食事介助の問題及び摂食機能の維持を図る指導・訓練>

食事介助に問題を感じることはあるかは、最も割合が大きい「ややある」(54.1%)と、続く「大変ある」(24.6%)の合計で 78.7%とおよそ 8 割となっています。

摂食機能維持・向上の指導・訓練は「実施している」の割合が 57.4%と 6 割近くが実施しており、次いで「必要性は感じているが実施していない」が 29.5%とほぼ 3 割になっています。「実施している」内容は、「食内容（食形態・物性など）の指導」35.6%と「食内容（食形態・物性など）の指導」34.5%で 7 割以上となっています。

「実施していない」理由は、「実施できる人材がほとんどいない」と「評価や実施方法など知識・技術が不足している」(33.3%)と「時間が確保できない」で全体の 9 割となります。

【郵送 2-7, 3-1, 3-2】

<連携・歯科医師による治療の違い・口腔機能維持管理加算>

連携は「必要である」の割合が 65.5%、歯科医師の差「ない」の割合が 34.5%となっており、口腔機能維持管理加算「不明・分からない」の割合が 70.7%と最も大きくなっています。

本調査の「障害者施設」においては、ヒアリング先の 6 割以上が「生活支援員・生活相談員」であった点が、「不明・わからない」の割合が大きくなった理由の一つと思われます。

【訪問 9, 10, 11】

2. 要介護者施設

<施設・属性について>

郵送アンケートに回答頂いた施設は、入所者数が「50～100人」の施設が64.5%と6割以上を占め、「75歳未満」は「要介護5」の割合が28.7%と最も大きく、「75～84歳」と「85歳以上」は「要介護4」の割合が最も大きくそれぞれ30.5%、31.3%となっています。

また、6割以上（65.5%）の施設で歯科医師や歯科衛生士は配置されておらず、配置されている施設では、歯科医師の9割近く（84.2%）、歯科衛生士の半数（50.0%）が「嘱託」となっています。「要介護者施設」の方が「障害者施設」よりも「配置されている」割合が17.4ポイント高くなっています。【郵送1-1, 1-2, 2-1, 2-1 補】

訪問調査の回答者は、「介護士・介護支援専門員」が52.7%と半数以上であるとともに、勤続年数は「11年～20年」が3割以上（33.1%）となっています。

「看護師・准看護師」の配置割合が24.4%と「障害者施設」の13.8%より10.1ポイント高くなっています【訪問1, 2】

<歯科検診・指導について>

入所者が歯科医の歯科検診を受ける機会がある施設は、6割以上（61.9%）で、回数は「年3回以上」が3割以上（34.4%）となっています。「障害者施設」（95.1%）より受ける機会は33.2ポイント低くなっています。

歯科医師または歯科衛生士から歯の磨き方や歯科保健に関する指導を受ける機会は7割以上（73.6%）であり、回数は「年3回以上」（41.6%）となっており、「障害者施設」より多くの回数が実施されています。（「障害者施設」は最も多い割合が「年1回」の31.6%）

「要介護者施設」は「障害者施設」より「歯科検診を受ける機会」がある施設の割合は少ないが、行っている施設においては、歯科医師または歯科衛生士からの指導をより多くの回数受けている様子がうかがえます。

従事者側は、自身の歯科受診は「なし、痛くなったら」が半数近くの46.9%、歯科保健に関する講習会等の受講状況は「なし」が3割以上（33.1%）となっています。

「1年に1回」講習会を受ける割合が24.1%と「障害者施設」（10.1%）より14.0ポイント高くなっています。

歯科検診・指導以外のむし歯や歯周病の予防のための取り組みも、8割以上（88.8%）の施設で取り組んでおり、「食後歯磨きの時間を取っている」（22.7%）と「定期的にフッ化物塗布を受けさせている」37.1%で6割以上となっています。

【郵送2-2, 2-2 補, 2-3, 2-3 補, 2-4, 2-4 補】【訪問3, 8】

<歯科治療が必要な入所者への対応及び歯や口に関する問題意識>

入所者の歯科治療に関しては「近隣の歯科医院へ往診を依頼する」が4割以上（43.0%）となっており、高齢者が多いことから、歯科医に施設へ来て頂いている様子がうかがえます。

歯や口に関する問題意識については、「ややある」が58.6%と約6割の施設で何かしらの問題を感じています。施設の歯科保健活動については、「入所者のニーズを満たしている」が68.5%と約7割となっています。

入居者のニーズを満たせていない理由は、「口腔ケアに費やせる時間の不足」が最も多く、次に「職員の口腔ケアの知識や意識の不足」があげられています。1人が介護度の異なる複数の入居者を介助しており、食後の口腔ケアへ平等に対応することが困難なうえ、歯科衛生士も十分な人数ではないことから、指導や研修も不足して知識や意識の不足につながっている状況がうかがえます。

【郵送 2-5, 2-6, 2-7, 2-7 補】

< 歯科保健サービス提供時の工夫、障害と今後必要なこと >

工夫は「口腔ケアの回数やグッズ、方法の工夫」が48.5%と約5割となっており、「障害者施設」と同じく、「開口が困難な場合」を改善するための「開口器」という意見も多く見られました。

障害については「開口が困難な場合」が50.3%と半数以上を占めており、現場における大きな課題となっている様子が見えます。

今後必要なことは、「歯科医師・歯科衛生士の往診・指導や知識向上の為に講習等の実施」が40.0%となっています。次いで「口腔ケアの見直し（頻度・方法等）」が22.2%となっています。【訪問 4, 5, 6】

< 併設施設の有無あるいは種別について >

併設施設が「ある」の割合が60.7%、「ない」の割合が38.1%となっており、種別は「デイサービス」が最も多く、次いで「ショートステイ」、「病院・診療所（クリニック）・医療機関」となっています。

併設施設に歯科は「ない」の割合が95.1%とほとんどの併設施設においてありません

【郵送 3, 3 補①, 3 補②】

< 連携・歯科医師による治療の違い・口腔機能維持管理加算 >

連携は「必要である」の割合が66.2%となっています。

歯科医師の差は「ある」の割合が41.5%と、「障害者施設」31.0%よりも10ポイント以上大きく、歯科医師による治療の違いを感じているようすがうかがえます。

口腔機能維持管理加算は「している」の割合が40.5%と4割以上となっています。

【訪問 9, 10, 11】